



ホームページアドレス <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせていただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 5820

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

(1809)

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



2019 Business Report

第74期報告書

2018年4月1日~2019年3月31日

証券コード 5820



企業理念

三ツ星は「誠意・熱意・創意」を基本姿勢とし、品質・価格・物流の最適化を図り、お客様により高い価値を提供してまいります。

電線事業

素材を究めた信頼性で 業界トップシェアを獲得

多彩な製品ラインナップ。あらゆる現場のニーズに対応します。
キャブタイヤケーブルをはじめとする各種電線は、天然ゴム・合成ゴム・プラスチックなどを主原料としています。三ツ星では、これら素材の特性を最大限に引き出し、つねに高品質な製品を生産し続け、多くのお客様より高い信頼を獲得してきました。これからも製品ラインナップを豊富に取り揃えることで、あらゆる現場でのニーズに対応。過酷な用途に耐え、作業の効率化や安全性、省コスト化に貢献できる製品づくりを目指します。



ポリマテック事業

お客様との共同開発で高付加価値製品を創造

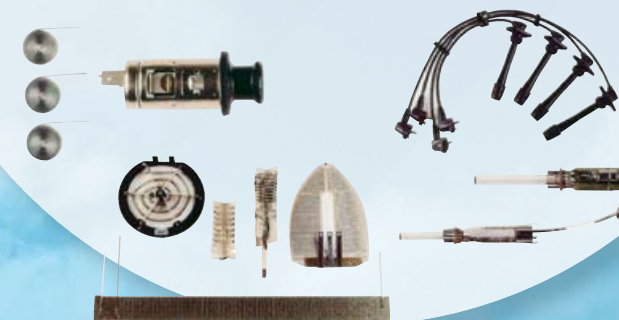
ポリマテック事業部門ではお客様からの商品企画について、その構想段階から製品設計、試作等の共同開発を行い、製品を納入するという受注生産を基本としてお客様とともに歩む姿勢を貫いています。
主製品としては建築用ガスケット類・手摺り・配線カバー・幅木などで、施工性の良さと品質面等で高い評価を得ています。
また、環境対応というテーマからプラスチック廃材の再生利用にも力を入れ取り組んでおり、社会的貢献の面からもその役割は重要なもので、さらなる取り組みを推進しています。



電熱線事業

電熱線分野で開発した高度の品質と技術を保有 高品質の製品とサービスを提供いたします

電熱線・抵抗線で線径0.04mmまでの極細線を量産製造し、品質面および技術面でお客様から高い評価をいただいております。さらに、お客様のニーズに応えるため、0.02mmまでの極細線の製造も可能にしました。また、伸線および圧延のコア技術を多角的に展開し、モリブデン帯の製造やハステロイ、インコネル、インコロイといった高機能材料の伸線・圧延等にも積極的に取り組んでいます。



株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第74期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

代表取締役社長 競 良一



Q 事業の概況を教えてください

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあり、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済は、米中通商問題の動向による影響や、中国の景気減速、金融資本市場の変動の影響等により先行きが不透明な状況となっております。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が前期並で推移したものの、主要得意先への販売が伸び悩んだこともあり、売上高は前期並となりました。

営業利益につきましては、高付加価値製品の伸び悩みや販売費及び一般管理費における手数料や運賃運送費の増加の影響により前期より減少しました。

経常利益につきましては、前期発生していた為替差損が当

連結会計年度は為替差益へと転じましたが、上記理由により、経常利益は前期より減少しました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本社売却による特別利益が発生したことにより前期より増加しました。

その結果、当連結会計年度における売上高は9,164百万円(前期比1.0%減)、営業利益は282百万円(前期比17.2%減)、経常利益は298百万円(前期比13.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は613百万円(前期比24.4%増)となりました。

Q 対処すべき課題を教えてください

今後のわが国経済の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、政府の各種経済政策の効果もあって、景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

電線事業につきましては、当事業に関連の深い公共事業関係費は、ほぼ前期並の予算計画であり、夏場以降から本格的に東京オリンピック・パラリンピック関連工事でキャブタイヤケーブルの需要の増加が見込まれます。

また、都市再開発、リニア中央新幹線、風力発電、大阪・関西万博などでも需要が見込まれ、併せて昨年開発した新商品の販売が増えることを見込んでおります。さらに、海洋、河川、ダム工事等で需要が見込まれる水中で使用されるケーブル(水中ドローン等)などの用途開発も進めております。

このような状況を踏まえ、国内外の新規案件獲得強化と、グループ全体での最適生産体制の追求とコスト削減の取り組みによる原価低減活動の継続と顧客ニーズを踏まえた製品開発・製品改良により業績向上に努めてまいります。

ポリマテック事業につきましては、当事業に関連の深い住宅市場は、消費税増税前の駆け込み需要は若干見込まれますが、前期比横ばいと予測されます。

このような状況を踏まえ、拡販活動に注力し、住宅関連以外

の新規顧客開拓の取り組みの速度を上げて売上高を確保するとともに、副資材、運送費のさらなる高騰が予測されるなか、適正価格での販売、材料ロスの削減等の原価低減を徹底し、利益確保に努めてまいります。

電熱線事業につきましては、当事業に関連の深い白物家電機器分野は、今後もグローバルベースの需要は増加傾向で推移するものと見込まれますが、電機メーカー間での厳しい競争は継続するものと見られるほか、高付加価値化といった技術革新の動向や業界再編の動向などに留意を要します。産業機器分野は、今後も人手不足等を背景とした自動化・省力化投資により底堅い推移が見込まれます。

このような状況を踏まえ、産業機器分野、車載分野のさらなる開拓、海外市場開拓、取扱鋼種の拡大に引き続き注力するとともに生産性向上と原価低減を図り、業績の向上に努めてまいります。また、基幹工場である本庄工場については、建屋と設備の老朽化、レイアウトの非効率化が課題となっております。これらの課題を解決するため、新しい基幹工場の建設を推進しております。

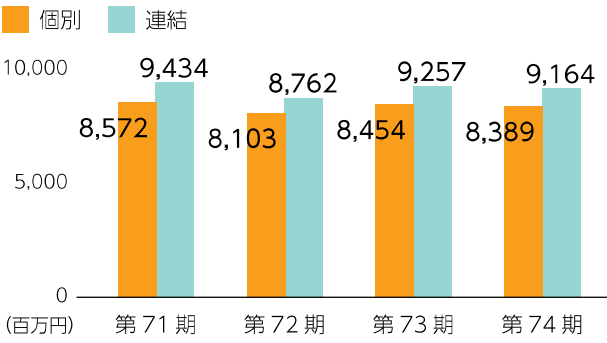
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

財務ハイライト

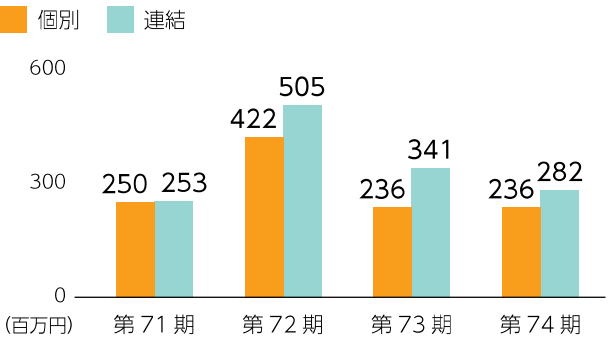
Financial Highlights

売上高



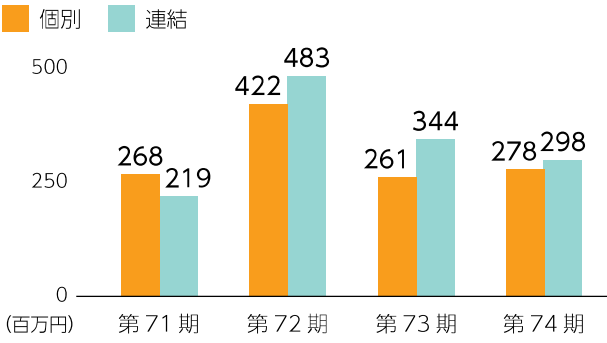
電線事業および電熱線事業で増収となりましたが、ポリマテック事業において減収となったため、グループ全体では前期に比べ減収となりました。

営業利益



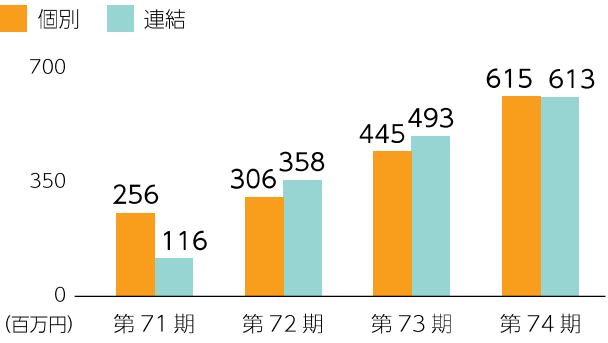
グループ全体で減益となったため、前期に比べ減益となりました。

経常利益



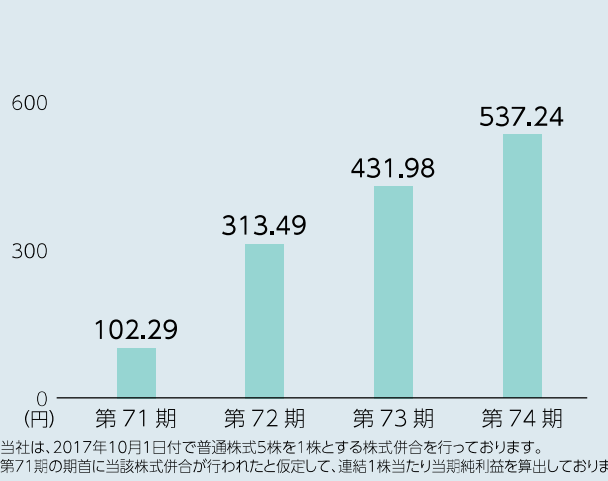
前期発生していた為替差損が今期は為替差益へと転じましたが、高付加価値製品の伸び悩みや手数料および運賃運送費の増加の影響により、前期に比べ減益となりました。

当期純利益および親会社株主に帰属する当期純利益

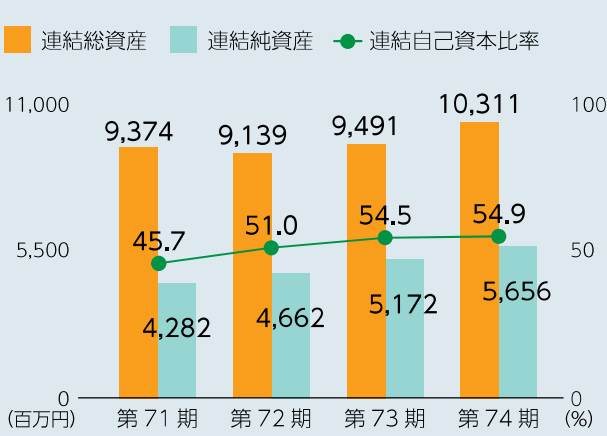


本社売却による特別利益が発生したことにより、前期に比べ増益となりました。

連結1株当たり当期純利益



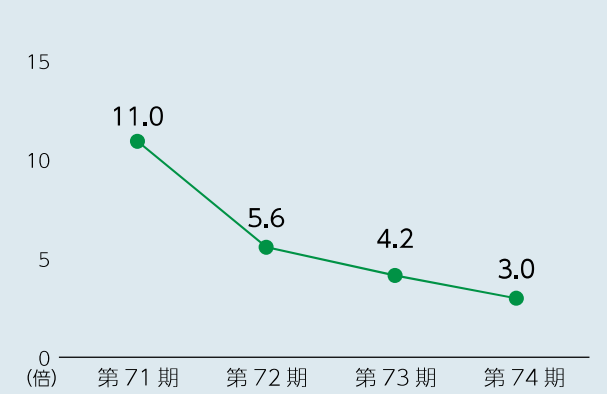
連結総資産／連結純資産／連結自己資本比率



連結株主資本利益率 (ROE)



連結株価収益率 (PER)



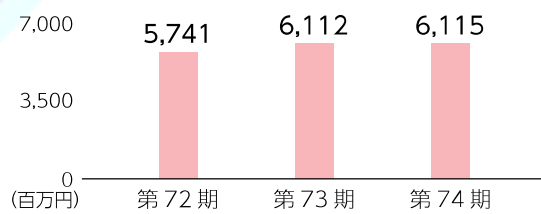
事業別の概況

Segment Information

電線事業



売上高の推移



商品紹介

業界トップシェアを誇る[キャブタイヤケーブル]

600V以下の移動用電気機器、配線等に使用されるキャブタイヤケーブルを主製品とし、その他多目的産業用キャブタイヤケーブル、溶接用ケーブルなど、産業用電線なら三ツ星という定評をいただいております。

当期の活動報告

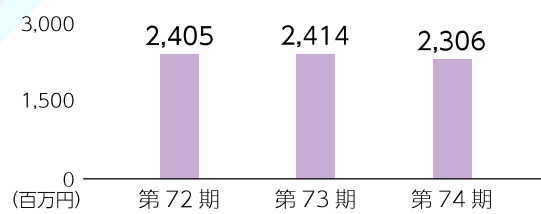
当事業の主要な市場である建設・電販向けは、東京オリンピック・パラリンピック、民間設備投資などの需要が好調に推移していましたが、米中貿易摩擦などの通商問題により世界経済が減速したことで、工作機械、FA関連の需要が急激に落ち込んだ影響により出荷量は抑えられましたが、売上高は、6,115百万円と、ほぼ横ばいの結果となりました。

利益面につきましては、プラスチック電線の材料値上げによる価格転嫁を行いました。利益面につきましては、生産性の改善等、コスト削減に取り組んでいますが、売上高の減少および原材料・副資材・運送費の値上がりの影響を受け、営業利益は50百万円となりました。

ポリマテック事業



売上高の推移



商品紹介

オフィスから暮らしまで、幅広いニーズと市場

住宅建材からOA機器分野、産業資材分野まで、省コスト仕上げの高品質により高い評価を得ています。木材複合樹脂やプラスチック廃材を再生利用した製品は、これからの環境対応というテーマからも注目されています。

当期の活動報告

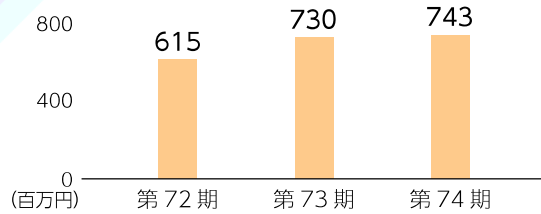
当事業に関連の深い新設住宅着工件数が前年比約2.0%減少した影響と、新規顧客獲得が遅効している結果、売上高は2,306百万円となりました。

利益面につきましては、生産性の改善等、コスト削減に取り組んでいますが、売上高の減少および原材料・副資材・運送費の値上がりの影響を受け、営業利益は50百万円となりました。

電熱線事業



売上高の推移



商品紹介

伸線・圧延技術力を活用した事業展開

どこの家庭にもあるヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫、テレビといった家電製品向け製品のほか、自動車のシガレットライターや高圧ケーブル、電子機器向けの製品を開発するなど、幅広い分野での活用が期待されます。

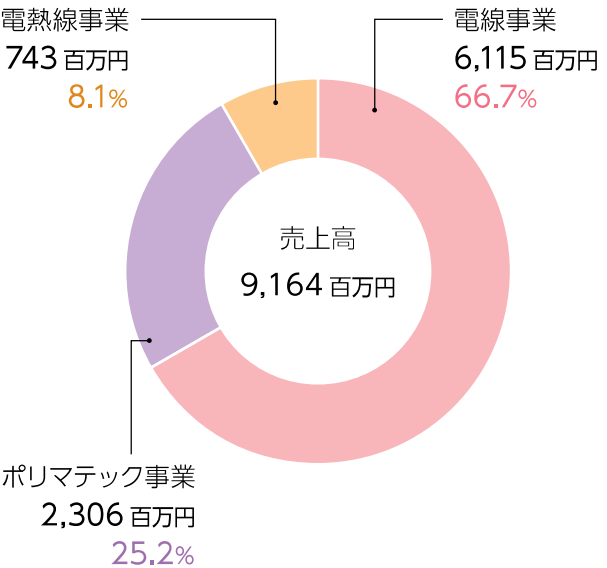
当期の活動報告

当事業の主要な市場である白物家電機器分野は、国内の安定した買換え需要や新興国での家電普及率上昇によりグローバルベースでの需要は拡大しておりますが、白物家電向けヒーター用途は前期比微減となりました。

産業機器分野は、海外市場向け販売がスマートフォンの需要鈍化により減少しましたが、国内向け販売は好調に推移しました。また、自動車関連、住宅設備機器関連での受注増により売上高は743百万円となりました。

利益面につきましては、生産性の改善やコスト削減に取り組んでいますが、比較的付加価値の高いニッケル系銅種の販売が前期比減となったことや原材料価格のベースアップ、工場移転の費用が発生した結果、営業利益は45百万円となりました。

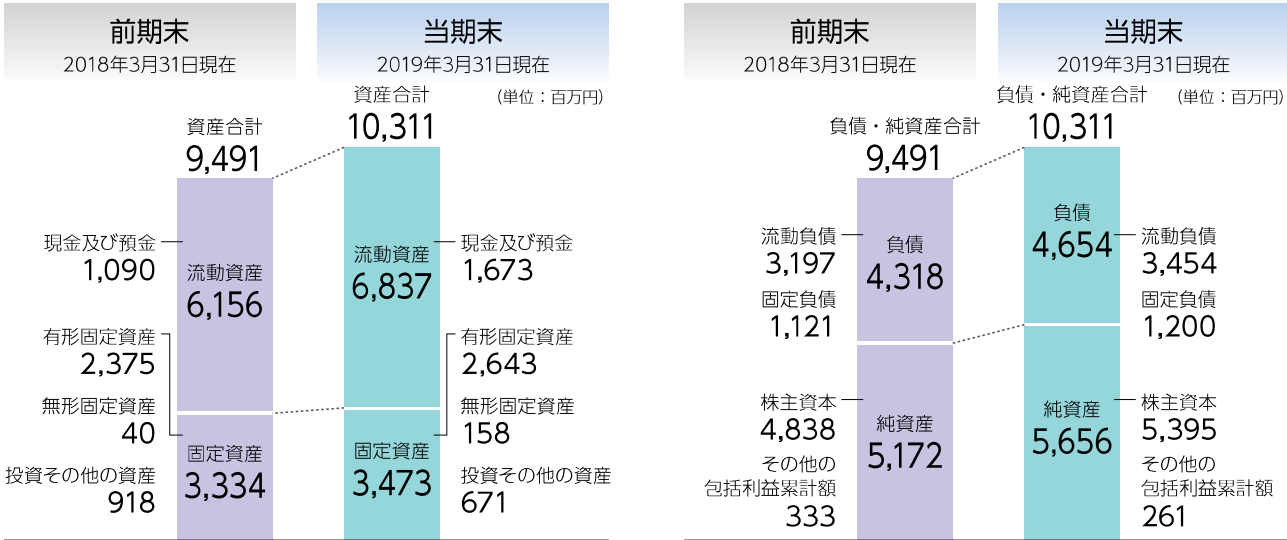
売上高構成比



連結財務諸表

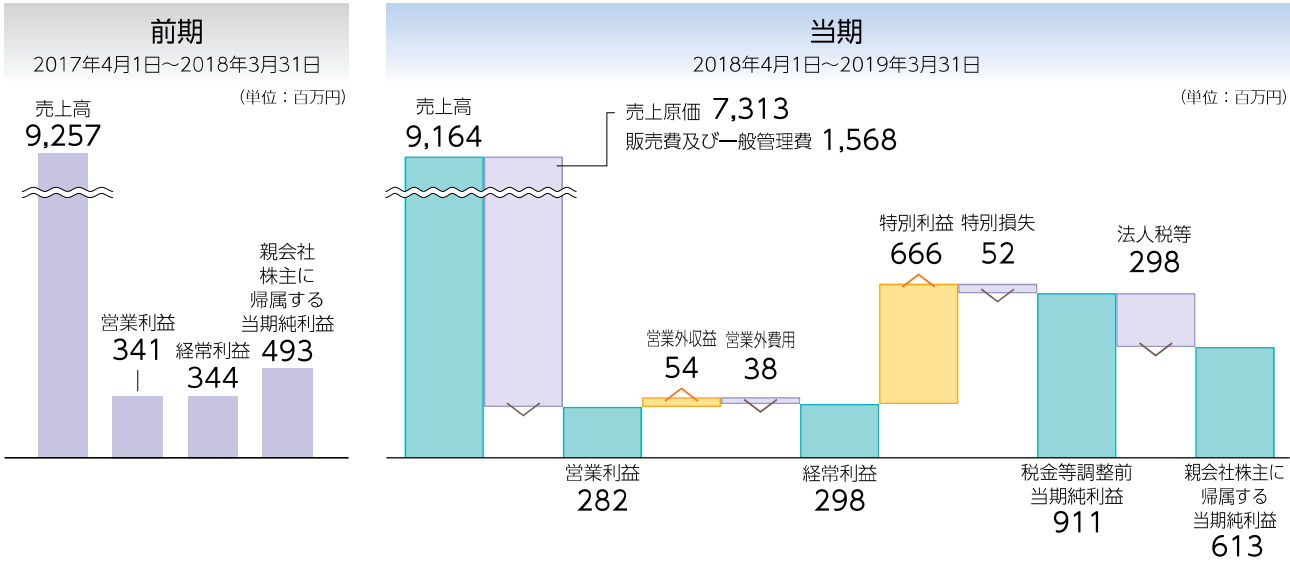
Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

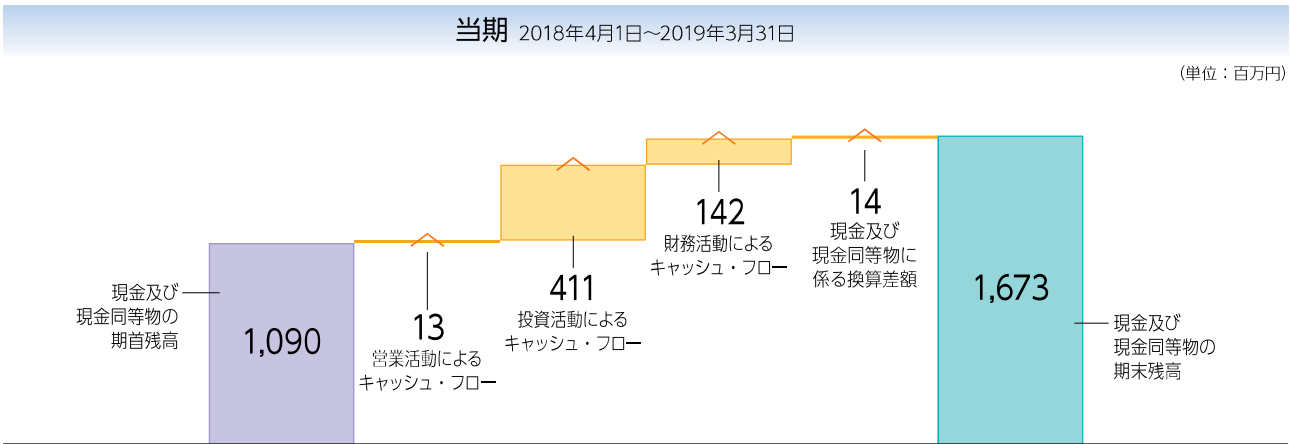


(注) 当連結会計年度より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用しております。これにより、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

連結損益計算書



連結キャッシュ・フロー計算書



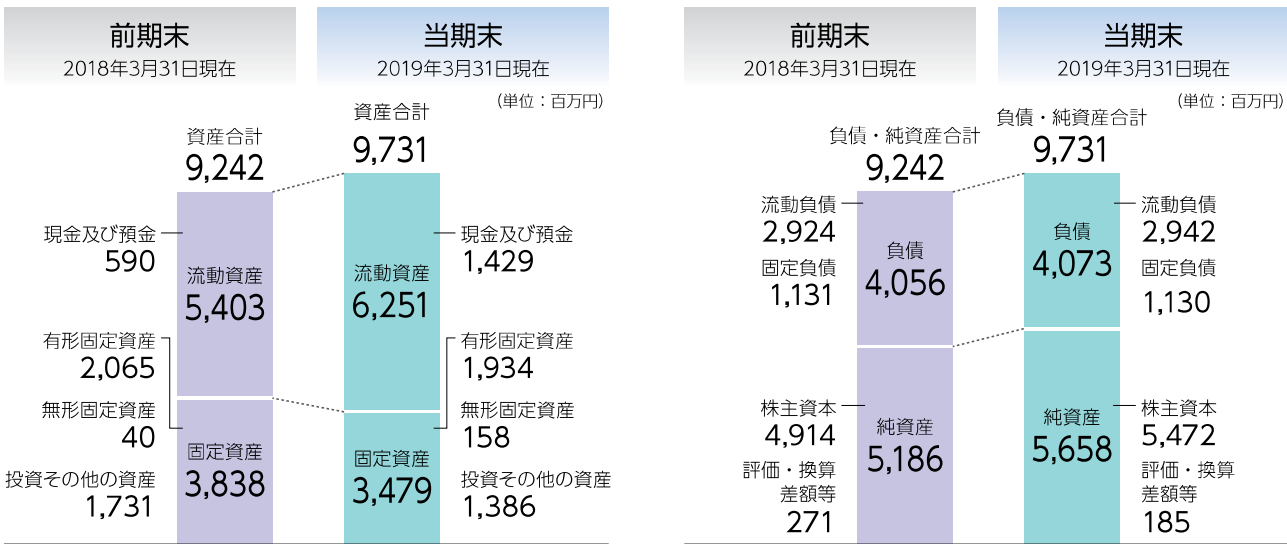
ポイント解説

- 総資産額**
前期末に比べ、8億19百万円増加し、103億11百万円となりました。
これは主に、現金及び預金の増加があったことによるものです。
- 負債総額**
前期末に比べ、3億36百万円増加し、46億54百万円となりました。
これは主に、支払手形及び買掛金の減少があったことによるものです。
- 純資産総額**
前期末に比べ、4億83百万円増加し、56億56百万円となりました。
これは主に、利益剰余金の増加があったことによるものです。

個別財務諸表

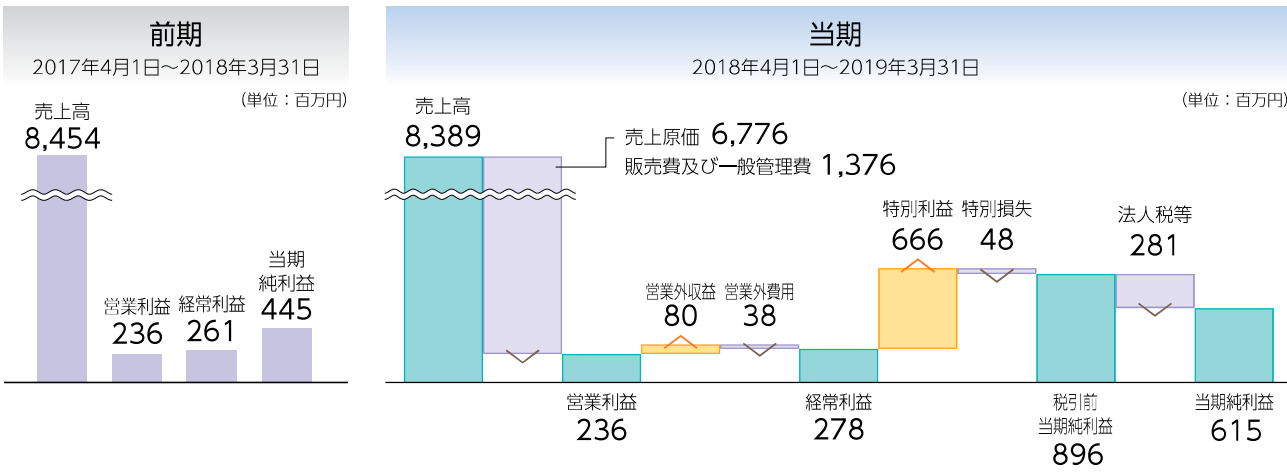
Non-Consolidated Financial Statements

■ 貸借対照表



(注) 当連結会計年度より「[税効果会計に係る会計基準]の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を適用しております。これにより、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

■ 損益計算書



株式の状況／会社概要

Stock Information / Corporate Profile

株式の状況 (2019年3月31日現在)

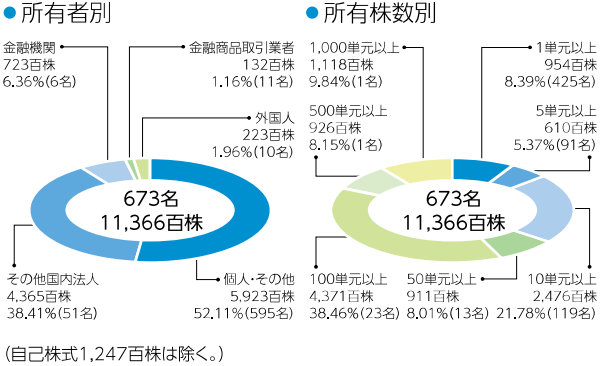
- 発行可能株式総数 3,800,000株
- 発行済株式の総数 1,141,876株 (自己株式124,779株を除く。)

- 株主数 765名
- 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社ツカモト	111,800	9.79
スリースター有限公司	92,630	8.11
津田電線株式会社	38,600	3.38
加藤清行	34,000	2.98
舟橋盛彦	31,200	2.73
三井住友信託銀行株式会社	29,400	2.57
西崎ひとみ	23,045	2.02
エスアールジータカミヤ株式会社	20,400	1.79
株式会社三菱UFJ銀行	20,150	1.76
三京化成株式会社	20,000	1.75

(注) 1.上記のほか、当社が自己株式124,779株を保有しております。
2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。
3.エスアールジータカミヤ株式会社は、2019年4月1日付で商号を株式会社タカミヤに変更しております。

株式分布状況 (単元株以上)



主要な事業内容

当社グループは、次の製品の製造・販売および仕入商品の販売を行っております。

事業部門	主 要 品 目
電線事業	天然ゴムキャブタイヤケーブル、合成ゴムキャブタイヤケーブル、架橋ポリエチレンケーブル、溶接用ケーブル、制御用ケーブル、プラスチックキャブタイヤケーブル、プラスチックコード、その他
ポリマテック事業	プラスチック押出成形品、射出成形品、真空成形品、高機能チューブ、LED関連商品、その他
電熱線事業	電熱線・帯、その他

役員 (2019年6月25日現在)

代表取締役社長	競 良 一
取締役執行役員	金城 安 弘
取締役執行役員	松 山 元
取締役(監査等委員)	下 川 浩 司 (社外)
取締役(監査等委員)	大 林 良 寛 (社外)
取締役(監査等委員)	小 林 明 彦 (社外)

(注) 1.取締役(監査等委員)下川浩司氏、大林良寛氏および小林明彦氏は社外取締役であります。
2.取締役(監査等委員)大林良寛氏および小林明彦氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員であります。

従業員の状況 (2019年3月31日現在)

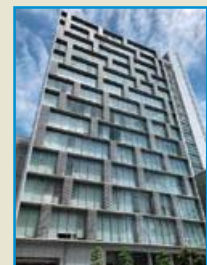
(連結) 259名(66名)

(個別) 163名(62名)

従業員数は就業員数であり、パートおよび嘱託社員は()内に年間の平均人員を外数で記載しております。

ネットワーク

Network



本社／大阪支店／
大阪営業所



九州営業所



羽曳野工場

MITSUBOSHI PHILIPPINES
CORPORATION



名古屋営業所



滋賀工場



東京支店／
東京営業所



シルバー鋼機
株式会社

主要な事業所

当社

本 社 〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階
TEL 06(6261)8881(代表)

大 阪 支 店 (電線事業部)
大 阪 営 業 所 (ポリマテック事業部)
〒541-0053
大阪市中央区本町一丁目4番8号
エスリードビル本町5階

(電線事業部) TEL 06(6261)8884(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 06(6261)8885(代表)

(2019年2月12日に移転いたしました。)

東 京 支 店 (電線事業部)
東 京 営 業 所 (ポリマテック事業部)
〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目2番1号
リーラック第一ビル

6階(電線事業部)

5階(ポリマテック事業部)

(電線事業部) TEL 03(6897)8660(代表)

(ポリマテック事業部) TEL 03(6897)8663(代表)

九 州 営 業 所 〒815-0081
福岡市南区那の川一丁目9番19号
TEL 092(526)2615(代表)

名古屋営業所 〒465-0095
名古屋市中東区高社一丁目253番地
一社プラザ4階402号室
TEL 052(760)4636(代表)

滋 賀 工 場 〒520-3306
滋賀県甲賀市甲南町柑子1061番地3
TEL 0748(86)6104(代表)

羽 曳 野 工 場 〒583-0867
大阪府羽曳野市河原城534番地
TEL 072(939)4561(代表)

シルバー鋼機株式会社

本 社 〒140-0014
東京都品川区大井一丁目42番2号
シルバービル
TEL 03(3773)9481(代表)

MITSUBOSHI PHILIPPINES CORPORATION

(フィリピン共和国) LOT11 BLOCK12 FIRST CAVITE
INDUSTRIAL ESTATE
BRGY.LANGKAAN,DASMARINAS,
CAVITE,PHILIPPINES4114

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会	毎年3月31日
期末配当	毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
および特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口 座 管 理 機 関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
インターネット https://www.smtb.jp/personal/agency/
ホームページURL index.html

公告方法 電子公告により行います。

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

当社の公告掲載URLは次のとおりです。
http://www.kk-mitsuboshi.co.jp

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

証券コード 5820

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。